

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第三課

1. 案件名 (国名)

国名：ザンビア共和国

案件名：ルサカ郡病院整備計画 (the Project for Upgrading Lusaka Health Centres to District Hospitals)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの現状と課題

保健セクターに関するザンビア国（以下、ザンビア）の状況は、5歳未満児死亡率（出生千対）は、157（2000年）、138（2005年）、82.9（2011年）と1990年代後半以降急激な改善を見せているものの、いまだに生まれた子どもの約1割が満5歳に達する前に死亡する状況であり、妊産婦死亡率（出生10万対）についても、440（2010年）と高水準に留まっている等、一層の改善が必要とされている。

一方、首都ルサカ郡（人口140万人）においては、第三次レベル¹の医療サービスを担う、国内トップの中核病院であるザンビア大学教育病院 (University Teaching Hospital : UTH) とヘルスセンターの間に、第一次レベルから第二次レベルの病院がないため、広くルサカ市民の保健医療サービス需要に対応することが困難な状況にある。また、UTHの患者の約25%がヘルスセンター（基礎保健サービス施設）から直接転送されている患者であることから、UTHはトップレファラルを担う第三次レベルの病院であると同時にルサカ地域の第一次レベル病院の役割も果たしており、慢性的で深刻な混雑状態にある。

以上のような状況に直面し、既存のヘルスセンターが第一次レベル病院に準じる機能を備えることを推進すべく、独自予算で手術室の設置等に着手している。

しかしながら、一度に建設工事や必要な医療機材の調達を賄う財源を手配することは困難であり、一部の工事のみを現在小規模単位で進めている状況である。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

ザンビア保健省は保健関係の「MDGs」の達成に向け、保健インフラ／医療機材の整備等の横断的課題を優先分野とする第五次国家保健戦略計画 (National Health Strategic Plan V : NHSPV) を推進している。本事業は、小規模ヘルスセンター2箇所の機能を強化し、第一次病院に等しい機能を備えさせることで、ルサカ市民の保健サービスへのアクセス改善を図るものであり、我が国が2009～2011年に実施したUTHの医療機材整備を行う無償資金協力とともに、NHSP Vの優先戦略の取り組みに寄与する案件である。

(3) 保健セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

本案件は我が国の援助方針における重点分野「持続的な経済成長を支える社会基盤の整備」に資するものであり、MDGsの妊産婦死亡率削減・乳幼児死亡率削減・エイズ治療への普遍的アクセス向上に貢献するとともに、TICAD IV横浜行動計画において我が国が表明した

¹ ザンビアにおける病院のレベルは以下の通り。

第一次 内科、外科、産婦人科、小児科（帝王切開、基礎手術、基礎的検査）

対象人口 8-20万人

第二次 内科、外科、産婦人科、小児科、歯科、精神科（集中治療、一般検査）

対象人口 20-80万人

第三次 内科、外科、産婦人科、小児科、歯科、精神科（集中治療、高度な検査）

対象人口 80万人以上

「1,000箇所の病院及び保健センターの改善」の達成に資するものである。尚、当該セクターに対する過去の援助実績は次の通り。

- ・無償資金協力「ザンビア大学付属教育病院医療機材整備計画(2009-2011)」
- ・技術協力プロジェクト「保健投資支援プロジェクト(2009-2013)」

(4) 他の援助機関の対応

国連人口基金 (United Nations Population Fund : UNPF) は「産婦人科診療サービス改善計画」を実施し、救急産科ケアを始めとする産婦人科診療サービス機能の向上を目的に UTH において産婦人科棟や産婦人科手術室の補修工事や関連機材の調達をした。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

ルサカ市において、対象ヘルスセンターの施設・機材の整備と運営維持管理者の能力向上を行うことにより、対象ヘルスセンターの機能の強化を図り、もってルサカ市民の一次レベル病院へのアクセス向上、UTH の混雑緩和による三次レベル病院へのアクセス向上に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名 ルサカ市内の 2 ヘルスセンター (Matero, Chilenge)

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

対象ヘルスセンターの施設改修、増設施設の建設（外来棟と中央診療棟、外科・小児科病棟及び関連施設）、医療機材調達

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

5S/KAIZEN/TQM 活動を通じた医療環境整備や医療機材操作・維持管理のための研修

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 19.07 億円（概算協力額（日本側）：19.05 億円、ザンビア国側：200 万円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2013 年 6 月～2015 年 7 月を予定（計 26 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）保健省保健省政策・企画局

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 C

② カテゴリ分類の根拠

既設のヘルスセンター敷地内での施設建設および既存ヘルスセンターに対する機材供与を中心に支援する案件であり、環境・社会への望ましくない影響はほとんどないと考えられる。

2) 貧困削減促進：特になし

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等） 特になし

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担

技術協力プロジェクト「保健投資支援プロジェクト」では、ルサカ州を含む 3 州を対象とした保健医療機材、施設等の管理状況の改善を図り、本無償案件との相乗効果が期待できる。

(9) その他特記事項 特になし

4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

建築許可を含む、ザンビア側先方負担事項が滞りなく行われる。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

急激な政情の変化が起こらず、治安が悪化しない。

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

カンボジア国「バンティミエンチャイ州モンゴルボレイ病院改修計画」では、機材調達について協力対象国が恒常的に機材維持管理の予算を確保できるのか、担当の人員は配置されているか、調達据付機材のスペアパーツの調達に現地の代理店との維持管理契約は適切か確認する必要があるとの教訓が得られている。

(2) 本事業への教訓

本事業においても、調達機材のスペアパーツの代理店の有無のみならず、代理店の料金設定等の維持管理契約の状況についても確認したうえで調達先を選定する必要がある。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

ヘルスセンターの機能を強化し、第一次レベル病院の医療サービスを提供することでルサカ市民の保健サービスへのアクセス改善を図ること、またこれにより第三次レベル病院の混雑緩和を通じたアクセス改善が図られることは、ザンビア国の政策にも合致するため、意義が高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値 (2012年)	目標値 (2018年)【事業完成3年後】
帝王切開件数の増加 (件)	マテロ UHC:0 チレンジェ UHC: 0	マテロ UHC :377 チレンジェ UHC:357
成人外科病棟 入院患者数(人)	マテロ UHC:0	マテロ UHC:484

2) 定性的効果

- ① 老朽化して使用困難となっていた一般外来、歯科、眼科・耳鼻科、処置室等の外来部門が整備され、中央診療部門が整備・集約化されることによる地域住民への医療サービスの向上
- ② ヘルスセンター（基礎保健サービス提供レベル）から第一次病院に格上げされることによる地域住民への医療サービスの向上
- ③ UTHの混雑緩和による、UTHの医療サービスの向上（手術や外来の待ち時間等の減少）

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・ 事後評価 事業完成 3 年後

以 上